

## 第一回矢数医史学賞

当学会内の矢数基金（基金寄贈者・矢数道明氏）をもとに設けられた「矢数医史学賞」の第一回受賞対象を左記のように決定し、去る五月十四日（日）に行われた第九〇回通常総会（熊本）において授賞式を行いました。

### 記

- 一 題 目 『明治期における脚氣の歴史』
- 一 受賞者 山下政三氏

## 矢数医史学賞について

### 第二回矢数医史学賞推薦について

左記の「矢数医史学賞規定」「矢数医史学賞公募規定」をご参照のうえ、本賞候補者をご推薦下さるようご案内いたします。なお「推薦書」ご希望の方は左記選考委員会までご連絡下さい。

### 矢数医史学賞規定

- 一 日本医史学会（以下、学会と記す）に矢数道明氏より寄贈された基金により「矢数医史学賞」を設定する。
- 二 賞は医史学研究の優れた業績に対して授与するものとする。授賞は各年度ごとに一件とする。受賞者には副賞十五万円を贈る。

三 応募論文について、学会会員の内より学会理事会が選任した選考委員会で合議のうえ、受賞者を決定する。

四 基金寄贈者の意志を尊重し、基金は特別会計として独立に管理・運用する。

五 授賞の対象は単行本、各種刊行物掲載の論文等（以下、論文等と記す）とし、授賞前年の十二月三十一日より遡って二年以内に公刊されたものとする。

なお刊行物の奥付け日をもって公刊の日とする。

六 授賞対象論文は公募とし、自薦・他薦を問わない。公募の方法については別に定める。

七 被推薦者は学会会員に限る。ただし推薦者は必ずしも学会会員である必要はない。

八 授賞は当該年度の学会総会で行なう。

### （付則）

一 この規定は昭和六十三年五月二十九日から実施する。

### 矢数医史学賞公募規定

一 日本医史学会会員および関連学会（左記）へ関係書類を郵送する。

(i) 日本医史学会会員には「日本医史学会会報」の発送時に同封する。

(ii) 同時に左記学会に発送する。

(一) 日本医学会

(二) 日本東洋医学学会

日 本 医 学 会

「日本医学会だより」

第一号(一九八九年四月)の発行について

日本医学会は、一九〇二年、日本医学会総会を開催するため、一六の医学会の連合体として発足した。現在では、八五の分科会を持ち、四年毎の日本医学会総会のみならず、常時活動として、シンポジウムの開催、その記録の刊行、医学用語管理、研究教育上の諸問題や学会間の情報交換のため努力を続けている。分科会の会員総数は、延べ三十五万人をこえている。

今後の日本医学会は、分科会会員全体の意志の許に、さらに有意義な活動をすべきで、そのためには、分科会会員諸氏の深い理解を必要としている。今後、定期的に日本医学会だよりを発行して、情報の公開に努めることにした。ご支援をお願いする。

(日本医学会長 太田邦夫)

一 日本医学会の役員構成(一九八八〜八九年年度)

会長・副会長は二年任期で、隔年の定例評議員会において改選される。幹事は、四年任期で、評議員会の部会から選出される。会長の委嘱による。会長(太田邦夫)、副会長三(阿部正和・森 亘・小泉 明)、および幹事一五(伊藤良雄・大越正秋・

(三) 日本歯科医史学会

(四) 日本薬史学会

(五) 日本科学史学会

(六) 日本化学史学会

(七) 日蘭学会

(八) その他

二 推薦書は様式一(略)に定める書類を使用する。

三 推薦書には推薦対象の別刷論文(コピー可)もしくは著書の一部添付するものとする。

添付書については返却しない。

四 推薦書の締切は毎年一月三十一日とする。

締切日 一九九〇年(平成二年)一月三十一日

日本医史学会「矢数医史学賞」選考委員会

〒二三 東京都文京区本郷二一―一

順天堂大学医学部医史学研究室内

☎(八三三) 三二一(内三三四)

☎(八三三) 一五三(直 通)

〔追記〕第一回矢数医史学賞公募に際しましては、関連学会以外にも広く推薦書類をお送り致しましたが、今回からは「矢数医史学賞公募規定」に掲載いたしました関連学会にのみ推薦書類を送ることになりました。会員およびその他の関連学会(関連団体)には、推薦書類郵送の希望があれば、お送り致しますので、日本医史学会事務局までお問い合わせ下さい。